

平成 25 年 2 月 1 日

各 位

会 社 名 東邦ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 濱田 矩男
 (コード番号 8129 東証第一部)
 問合せ先 執行役員コーポレート・コミュニケーション室長
 兼 経営企画室長 加藤 勝哉
 (電話 03-5259-9520)

平成 25 年 3 月期第 3 四半期業績結果について

当第 3 四半期連結累計期間における医療用医薬品市場は、前年同期比 2.3% (クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推計) の伸長となったのに対し、当社医薬品卸売事業においては顧客支援システムを基軸とする提案型営業と市場の拡大が期待される新製品の販売との「両立の戦略」を展開することにより、市場平均以上の伸長をすることができました。

また、高齢化による医療ニーズの変化に応じて医療と介護の連携強化が必要とされる中、在宅支援環境の整備・拡充が重要視されています。在宅医療を推進する関係者からは、医療提供施設へ毛細血管型の配送網を持つ当社に対して、医療材料のスムーズな流通システムの構築を望む声が多数寄せられており、平成 24 年 12 月 1 日から全国規模で医療材料を必要な時に必要な分だけを届ける「医療材料の分割販売」も開始いたしました。

このような状況の中、当社グループの当第 3 四半期の業績は、売上高 862,368 百万円 (前年同期比 3.0% 増) と通期業績予想に対して 75.6% の進捗率となりました。医薬品卸売事業については、製品個々の価値に応じた価格体系に基づいた適正利益を確保するための価格ロックシステムを厳格に運用し、総値取引・薬価差問題等の是正や未妥結・仮納入などの流通課題の改善にも取り組みました。また、Meissa および顧客支援システムによるフィービジネスの拡大と経費節減にグループ全社で取り組みました。調剤薬局事業については、新規出店等による順調な拡大はありましたが、新規出店費用と薬剤師採用による経費増もありました。その結果、営業利益は 10,645 百万円 (前年同期比 39.5% 増)、通期業績予想比 67.8%、経常利益 13,051 百万円 (前年同期比 23.8% 増)、同予想比 70.9%、四半期純利益は 7,852 百万円 (前年同期比 17.2% 増)、同予想比 75.5% となりました。

1. 平成 25 年 3 月期第 3 四半期業績 (連結)

(1) 前年同期比

単位：百万円、%

連結	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第 3 四半期	862,368	10,645	13,051	7,852
前第 3 四半期	837,391	7,631	10,538	6,698
前年同期比増減額	24,976	3,013	2,512	1,154
前年同期比 (%)	103.0	139.5	123.8	117.2

(2)通期業績予想比

単位：百万円、%

連結	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期） 純利益
当第3四半期	862,368	10,645	13,051	7,852
通期業績予想	1,140,000	15,700	18,400	10,400
通期業績予想比（%）	75.6	67.8	70.9	75.5

2. 平成25年3月期通期予想について

通期業績予想については、平成24年5月9日発表計数に変更はありません。

以 上